

## 考えようわが家の防災マニュアル

災害はいつどこで発生するかわかりません。

買い物中や通学中、通勤中といった家族と離れているときに被災するかもしれません。

そのような状況に備えて、避難所等の集合場所や連絡方法、急いで避難するための非常用持ち出し袋についてあらかじめ家族で話し合ひましょう。

### ①避難所や避難場所を確認しましょう！

いざという時に速やかに避難出来るよう、事前に家族で避難先を決めておきましょう。

また、実際に避難先まで歩き、避難にかかる時間を調べておくことも重要です。

避難先については、ハザードマップでも確認することができますので、ご活用ください。

### ②家族の無事をどう確認する？どう伝える？

災害発生時は、電話などの回線が混雑し、家族と連絡が取れなくなる場合があります。

そんな時は、NTT・各携帯電話会社・インターネットの災害用伝言サービスを利用しましょう。

NTT災害時伝言ダイヤル171		災害用伝言版（携帯電話）
<b>伝言録音方法</b> <p>※1回に録音できるのは30秒まで、必要な情報のみを簡潔に。                  ※伝言の保存期間は48時間。</p>	<b>伝言再生方法</b> 	<b>【災害時以外にも災害用伝言ダイヤルを体験することができます。】</b> 公式メニューや専用アプリから「災害用伝言版」アクセス ↓ 伝言を登録 / 伝言を確認 ↓ 「登録」を選択 / 「確認」を選択 ↓ 100文字以内のコメントを入力して登録 / 確認したい人の携帯番号を入力して検索
		【災害時以外にも災害用伝言ダイヤルを体験することができます。】 ・毎月1日、15日 0:00~24:00 ・正月三が日 1月1日 0:00~3日 24:00 ・防災週間 8月30日 9:00~9月5日 17:00 ・防災とボランティア週間 1月15日 9:00~1月21日 17:00

このサービスは、固定電話や携帯電話、インターネットで録音や再生をすることで、被災地同士の安否確認はもちろん、被災地から他の地域にメッセージを伝えることができます。

### ③非常用持ち出し袋を用意しよう！

迅速な避難や避難所生活に備えるために、必要な物品を家族で相談し、非常用持ち出し袋を用意しましょう。

非常用持ち出し袋は、玄関や寝室など持ち出しやすい所に置いておき、すぐに持ち出せるようにしておきましょう。

背負える袋などに入れておけば、持ち出した時に両手が使えて便利です。

## 土のうステーションを設置しました

御坊市では、大雨・洪水による家屋への浸水被害を防止するため必要に応じ土のうの貸し出しを行っています。財部地区では浸水頻度が高いため、財部会館に土のうステーションを設置しました。ご自由にお使いください。

